

用語集

あ行

NPO

民間非営利組織、Non-Profit Organization の頭文字をとったもの。営利を目的とせず、社会的な活動を行う民間組織。

か行

協働

まちづくりなどの場において、市民と行政が対等な立場で相互の特性を認め、地域の問題の解決や、共通する目標の実現に向けて協力・協調すること。

コーディネーター

物事の調整役・まとめ役。

コミュニティ

一定の地域に居住し、共通の感情を持つ人々の集団、地域や地域社会のこと。

さ行

参画

「参加」は様々な場に顔を出し、人数として数えられることをいうのに対し、「参画」は組織やグループの決定に影響力を与え、責任を持つという積極的な意味合いをもつ。

市政モニター

市政に対する市民の意見や要望を継続して聴取し、これを広く市政に反映させる制度。

市政世論調査

市民の市政への意見・要望や生活環境への意識等を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するために実施する調査。

姉妹都市

市民の文化交流や親善を目的とする都市間の結びつき。

社会教育

学校教育以外に、主として青少年や成人を対象に行われる組織的な教育活動。

た行

中央教育審議会

文部科学大臣の諮問機関。教育・学術・文化・スポーツに関する基本的施策について調査審議する。

出前講座

市民が主催する学習会に市の職員等が講師として伺い、市政の説明や専門知識をいかした講義を行なう。

読書のまち八王子

市民が日常生活の中で手軽に本に触れることのできる環境が整備され、「いつでも どこでも だれでも」読書に親しむことができるまちづくりをめざすもの。

な行

ネットワーク

ある単位と単位をつなぐ網の目のことを意味し、異なる情報や資源などを結びつけることで、新しい価値のある情報を創造する事に重点を置く。連携を容易にするためのしくみづくり。

ノーマライゼーション

障害者や高齢者などが地域で支障なくの生活を営むことを当然とする、福祉の基本的な考え方。

は行

バックアップ

支援や予備のこと。

ボランティア

自ら進んで、社会事業などに無償で参加する人。

ら行

ライフスタイル

生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方のこと。